

# 琉球病院 Monthly



独立行政法人  
国立病院機構 琉球病院  
National Hospital Organization RYUKYU Hospital

Vol.138  
2026. May

発行者 琉球病院事務部長  
岩崎 吉洋

## 基本理念 この病院で最も大切なひとは医療を受ける人である

### 新任のご挨拶

#### 事務部長 岩崎 吉洋

4月より琉球病院事務部長として着任いたしました岩崎と申します。沖縄での勤務は初めてですが、地域医療を学び、信頼される医療提供を支えるべく、病院運営の質向上と医療機関との連携強化に尽力してまいります。今後ともご支援賜りますよう、よろしくお願いいたします。

#### 看護部長 穴井 久美子

4月1日付で看護部長を拝命しました穴井久美子と申します。沖縄の文化や人の温かさに触れながら、学ばせていただく気持ちを大切に、一緒によりよい看護を築いていきたいと考えています。そして地域の皆様に信頼され安心していただける看護の提供に努めてまいります。至らない点もあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

#### 薬剤科長 甲斐 達夫

4月1日付けで、佐賀病院より昇任で参りました、甲斐達夫と申します。地域の皆様には、今後さまざまな場面でお世話になることと存じます。琉球病院の目標である患者さんの「地域移行」を支えるため、退院時薬剤情報管理指導の充実に取り組み、退院後も安心してお薬を使用いただけるよう、地域の医療・介護関係者の皆様と連携していきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

#### ● 地域連携室だより

精神保健福祉士 池間 ゆかの

地域医療連携室では初診の相談だけではなく通院中、入院中の方の経済的な相談、就労に関しての相談、社会資源に関しての相談など様々な相談をお受けしています。初診に關しましては、1日にご案内できる予約枠が限られているため予約日までお待たせしてしまう状況が発生しておりますが、入院のご相談は迅速に対応できるよう心掛けてまいりますので、お気軽に医事課隣の地域医療連携室までお声かけください。

#### 院長



ふくじ やすひで  
福治 康秀

1964年生まれ、那覇市出身、首里高校卒。1993年琉球大学医学部卒、琉球大学医学部精神神経科入局。95年那覇市立病院精神科、96年琉球大学精神神経科、2009年琉球病院精神科部長、2010年副院長を経て2014年琉球病院長に就任。日本森田療法学会理事。日本病院・地域精神医学会理事。琉球大学医学部 臨床教授。

#### 診療科

- ・一般精神科
- ・こども心療科
- ・クロザリル外来
- ・アルコール依存症等外来

#### 病床数

353床

- ・精神 151床  
(一般精神・クロザピン専門・精神科救急)
- ・アルコール依存症 44床
- ・児童思春期ユニット 4床
- ・重症心身障がい 90床
- ・医療観察法 37床



路線バス 那覇BS(下り)または名護BS(上り)より沖縄バス「77番名護東線」浜田バス停下車徒歩3分

自動車 那覇市から40分沖縄自動車道道金武インターから名護向け5分

#### お問い合わせ

時間 8:30 ~ 17:15  
(土・日・祝日・年末年始以外)  
TEL 098-968-2133(代)  
内線 231・234

#### 地域医療連携室(直通)

TEL 098-968-3550  
FAX 098-968-7370

## 治療抵抗性精神疾患への医療

精神科医長 木田 直也



## クロザピンの治療状況

治療抵抗性統合失調症の患者さんに対して、当院では2010年からクロザピン(CLZ)治療を開始し、登録症例数は延べ452例になりました。2026年3月のCLZ登録症例は1例でした。CLZ導入前には暴力行為や多飲水などの問題行動のために、隔離や身体拘束が必要な患者さんも多くいらっしゃいましたが、CLZ継続問題行動が消失、もしくは軽減し、ほとんどの症例で隔離や身体拘束は解除できています。週に3回のCLZ専門外来も行っていますので、患者さんのご紹介をお願いいたします。当院でのCLZ治療や沖縄県での地域連携の実際については、ノバルティスファーマ社の医療関係者向けサイトのクロザリル/クロザリル適正使用の流れ(<https://www.dr-s-net.novartis.co.jp/dr/products/product/clozaril/point/>)でも動画が公開されていますので、ご参照ください。

## 専攻医募集のお知らせ

医局 西平 賀政

琉球病院では、令和9年度精神科研修を希望する先生を募集中です。当院は依存症、クロザピン治療、医療観察法及び地域包括ケア、児童思春期など高い専門性に加え、国立病院機構ネットワークを活かした研修が特徴です。興味のある方は見学をお待ちしています。研修の詳細内容は当院のホームページ(令和8年度専攻医募集)をご覧ください。

## 東Ⅰ病棟のご紹介

東Ⅰ看護師長 湧川 傑

当病棟は、平成31年4月から精神科急性期病棟(スーパー救急病棟)として運営しています。入院患者は精神科急性期特有の陽性症状や著明な陰性症状を呈しているため、リスク管理を中心とした精神科治療が優先され、時に患者さんの安全を守るために治療上の指示に基づいた行動制限やセルフケア援助を中心とした手厚いケアを必要とします。また、90日以内での退院を目指し日々、精神症状や人格特性への理解、観察力や状況判断、リスクアセスメント能力、コミュニケーション能力等、多職種と連携し医療を提供することが求められます。

当病棟の使命は、病院理念「この病院で最も大切な人は医療を受ける人である。」とあるように患者さんに寄り添い、早期から効果的な治療を提供することで、精神症状からの回復を支援し、社会復帰を促進していくことです。これからも患者さんに寄り添い、多くの患者さんの回復を支援していきます。

## 西Ⅰ・Ⅱ病棟 学齢超過者への教育支援

主任児童指導員 宮川 奏子

現在は当たり前となっている義務教育ですが、かつては多くの障害児に対して就学猶予・就学免除が適用されていた時代がありました。当院西Ⅰ・Ⅱ病棟の利用者さんの中にも学校教育を受けることが出来なかった方々がおられ、当院では令和4年度より教育行政との連携、ご家族との調整を行い、希望者の入学をすすめています。現在、中学部4名、高等部1名、計5名の方が、名護特別支援学校からの訪問教育を受けておられます。

様々な制作活動や感覚体験など、病棟生活では経験できないことなど、様々工夫を凝らした授業が提供され、利用者さんの表情からは充実した時間となっていることがうかがえます。貴重な学びの機会から得られたことを病棟生活でも活かしていけるよう、今後も学校との連携を図りながら支援の充実に取り組んでいきます。

## こども心療科診療エリアの変更に関するご案内

心理療法士 諸見 優子

表題の件につきまして急なご案内となり、患者様にご不便ご心配をおかけしておりますことを心よりお詫び申し上げます。これまで使用しておりましたこども心療科の診療エリアの一部で、建物の耐震に脆弱性が確認されたことにより、待合室や診察室の移動を3月下旬に急ぎよ行っております。

外来受付にて変更に関するご説明を行っております。ご来院時ご不明な点がございましたら、最寄りのスタッフまでご遠慮なくお尋ねください。安全な診療のため、何卒ご理解賜りますようお願いいたします。

